

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年10月24日

【評価実施概要】

事業所番号	0175700335		
法人名	株式会社 一条		
事業所名	グループホーム ほろむい		
所在地	岩見沢市幌向北2条1丁目611-127 (電話) 0126-26-5673		
評価機関名	有限会社 ふるさとネットサービス		
所在地	札幌市中央区北1条西5丁目3 北1条ビル3階		
訪問調査日	平成21年10月19日	評価確定日	平成21年11月18日

【情報提供票より】 (平成21年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 1 日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	20 人	常勤 18人, 非常勤 2人, 常勤換算 19人	

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての 1～2 階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000円		その他の経費(月額)	光熱水費 18,000円
				暖房費(11～3月) 7,000円
敷金	有 ()円		・ 無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 ()円		有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,333 円			

(4) 利用者の概要 (10月1日現在)

利用者人数	27名	男性	3名	女性	24名
要介護1	6名	要介護2	8名		
要介護3	6名	要介護4	4名		
要介護5	3名	要支援2	0名		
年齢	平均 85.9歳	最低	75歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	北翔会病院、牧病院、岩見沢脳神経外科他
---------	---------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは、幌向地区で初めて開設され、閑静な住宅街に位置しています。家族の了解の下、利用者が単独で散歩中でも、地域の方々が見守り、声を掛けていただくなど、大変良好な交流が継続されています。利用者や職員が笑って過ごせるよう心掛けたいとの思いを、職員全員が共有し、日々理念に沿ったケアサービスに取り組んでいる「グループホームほろむい」です。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の改善項目は、職員全員の取り組みにより改善が見られましたが、年間研修計画と研修記録の整備は、継続しての取り組みに期待します。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	日々のケアサービスのあり方を振り返り、職員全員で自己評価に取り組み、サービスの質の向上に繋がっています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定期的開催され、ホームの現状、終末期について、地域の方々との協力体制、内・外部評価の公表など、家族・住民・行政の方々とホームの運営に向けて真摯な意見交換が行なわれています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	運営推進会議や意見箱の設置により家族からの意見や要望の把握に努めていますが、十分とは言えず、今後の課題としています。家族の根底にある思いを汲み取る工夫を考慮していますので、取り組みに期待します。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方々とは、散歩時での挨拶はもとより、町内会行事やホーム行事に相互参加があります。児童館の子供達や中学生のふれあい体験、ボランティアの訪問で楽しい一時を過ごしています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域に根ざし、安心して自分らしく暮らすことを支える運営理念を作り上げ、日々のケアサービスに活かしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内に理念を掲示し、会議の中でも常に理念を確認しながら、課題を検討しています。さらに日常業務でも、職員は理念を踏まえた実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の方々とは散策時での挨拶はもとより、町内会行事(仮装盆踊り、秋祭など)や、ホームの行事(敬老会、祭など)に相互の参加があります。また、児童館の子供達や中学生のふれあい体験、ボランティアによる訪問で、楽しい一時を過ごしています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、外部評価の結果も含め、職員全員で検討し、新たな気づきや改善点が見出されました。改善項目の具体案が話し合わせ、実践に向けての取り組みが行なわれました。		

岩見沢市 グループホーム ほろむい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、グループホームほろむい・グループホームほろむい2号館と合同で2ヵ月毎に開催され、ホームの現況、内・外部評価の公表など、家族・住民・行政の方々と意見交換があり、ホームの運営に反映させています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政の担当者に、運営推進会議の議事録や、ホーム便りを届け、ホームの現状を報告しています。ホームとして課題が生じた場合には、助言や情報をいただいたり、またホーム側からの情報を提供するなど、双方向の関係が構築されています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	ホームの現状や、利用者の暮らしぶりは隔月、ユニット毎に「お便り」で家族に報告をしています。さらに家族来訪時や電話で、利用者の心身の状態を詳細に伝えています。今後「お便り」に職員異動や、一人ひとりのコメント欄を設けることを予定しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議や、家族の来訪時、電話で家族からの意見・要望の把握に努めています。意見箱の設置や、内部・外部の苦情相談窓口を案内していますが、効果的に活用されていない状態です。	○	家族の表出しがたい現状を考え、今後、家族アンケートを予定していますので、様々な工夫の取り組みに期待します。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	日常的に、ユニット間や、併設のデイサービス、グループホームほろむい2号館とは内外の行事が合同で開催され、利用者や職員は馴染みの関係にあり、異動が生じた場合も混乱はありません。新人職員の場合も、引き継ぎ期間を設けるなどの配慮をしています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	運営者は、職員の技術習得に向けて、外部研修の情報提供や、受講参加者には研修費をホームで負担し、向上心に繋がる支援をしていますが、内部研修は外部研修の内容を伝達するのみに止まっています。	○	職員の経験や、技術の習熟度に沿った段階的な年間研修計画や、研修記録の整備は継続しての取り組みとしていきますので、実現に期待します。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	幌向地区では、唯一のグループホームであるため、近隣のほかの業者とはケアマネ連絡協議会や、施設長の人的ネットワークでの交流のみとなっています。ほかの業者間とネットワーク作りや、勉強会を予定していますが、実現に至っていません。	○	職員がほかの業者との交流により切磋琢磨し、介護技術の向上に繋がる機会の確保に期待します。
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に、利用者や家族にホームの日常を見学していただき、また、ホームからも訪問し、利用者の生活歴や意向の把握に努めています。デイサービスを利用していただきながら、段階的に馴染めるよう工夫しています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者が培ってきた生活の知恵や工夫などを教えていただいたり、夜勤時や多忙な時間帯に、労りや感謝の言葉をいただくなど、利用者と職員の絆の深さを感じられます。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの思いや、暮らし方の希望は、これ迄の生活歴や日常生活での言動から、汲み取る工夫をしています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意向、希望を集約し、さらに担当職員や介護支援専門員、医療関係者からの気付きや助言を参考に、一人ひとりの持つ力を活かした介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	利用者・家族の意向や、利用者の心身の状態などを記録している「生活経過表」を基に、評価・見直しを行ない、ケアを実践しています。状態変化時は、速やかに介護計画の見直しに取り組んでいます。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者や家族の要望に応じ、受診時の同行、訪問理美容の受け入れ、希望の理美容室への送迎、自宅やお寺参りの送迎、家族の宿泊支援をしています。介護についての講演や相談の受け入れなど、ホームとして地域貢献にも努めています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	24時間連絡が取れる協力医療機関による定期的な訪問診療や、状態変化時の対応も適切に行なわれています。利用以前のかかりつけ医の受診も支援しており、関係者は情報を共有しています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や終末期に向けたホームの対応指針と同意書は整備されていますが、現在は看護師が不在のため、医療連携体制加算は取っていません。ユニットによっては、ターミナルを経験しており、常に関係者と情報を確認し、方針を共有する取り組みが図られています。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は、利用者の尊厳やプライバシーに配慮した対応を心掛けており、個人情報の記録も十分に注意を払っています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本としての一日の流れはありますが、利用者の心身の状態に合わせ、起床・食事・就寝時間は柔軟に対応しています。散歩や買物など、利用者の意向に沿って支援しています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者は、味付け、盛り付け、後片付けなど、職員と楽しく作業をしています。職員は、利用者の介護度の状態により、食事介助に専念していますが、会話を楽しみながらの食事風景になっています。おやつや行事食では、食卓を共にしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週2回以上の入浴日を設けていますが、利用者の体調に合わせて、柔軟に対応しています。入浴剤入りの浴槽で歌ったり話をしながら、利用者と職員は、穏やかな時間を過ごしています。併設のデイサービスの入浴や、月一度の温泉利用にも取り組んでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	職員の見守りの下、利用者の得意とする草取り、洗濯物整理、熱帯魚の世話、掃除、ごみ出し、手芸、消毒槽への食器運びなどで力を発揮していただき、充実感に繋がる支援をしています。誕生日や外出行事、バーベキューなどで気分転換を図っています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	利用者の体調や天候に考慮し、ホーム周辺の散策、買物、ドライブ、中庭での日向ぼっこなどで外気浴を楽しんでいます。外出が困難な場合でも、車や車椅子を利用し、外出を促す支援に力を入れています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関やユニット入口、居室は施錠せず、職員の見守りの下、利用者は自由に外出を楽しんでいます。家族の了解をいただき、決められたコースを一人で散歩する利用者もいます。その際には、利用者情報を目に付かない所に携帯していただき、安全に努めています。		

岩見沢市 グループホーム ほろむい

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	地域の方々の協力をいただき、避難訓練のマニュアルに沿って、昼夜想定消防訓練や消防署の協力の下での安全避難訓練を実施しています。今後は町内会主催の災害時避難訓練にも参加を予定しています。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士の指導の下、彩りよくバランスを考慮した食事を提供しています。利用者の状態に合わせた食事形態に取り組み、一日の摂取量や水分量も職員の共有とし、過不足分に対応しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間は利用者にとって安らぎの場となるよう、防音や光の調整、換気、空調に注意を払っています。季節毎に行事の写真や作品を壁面に飾り、会話も弾んでいます。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には、慣れ親しんだ家具や調度品が配置され、利用者が安心して暮らせるよう支援しています。利用者の心身の状態により、日中は居室に物を置かない取り組みも行なわれています。		

※ は、重点項目。